

第53回クイズ(どこにありますか) ふるってご応募ください



町の施設です

海田町のどこにありますか？

この施設は、海田町消防団第二分団第四部の「消防庫」です。消防庫にある消防車両や小型動力ポンプなどを活用する消防団員は、普段は自らの職業をもっている人たちで、火災、風水害、震災が発生したとき活動をします。

海田のまちを災害から守りたい方、入団を待っています。詳しくは、海田町役場地域振興課（八三三九二〇八）までお問い合わせください。

前回は、応募総数二十六通（正解五通）でした。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

前回の正解は「三迫二丁目」でした。

〇 官製はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、議会事務局へお送りください。余白に、議会へのお便り、要望、意見、イラストなど書いていただければ大歓迎です。

〇〇〇 正解者の中から抽選により、五人の方に図書カードを送ります。締め切りは七月二十日（消印有効）です。

あて先 〒736-8601 海田町上市一四一八 海田町議会事務局

応募方法

議員研修会 に参加



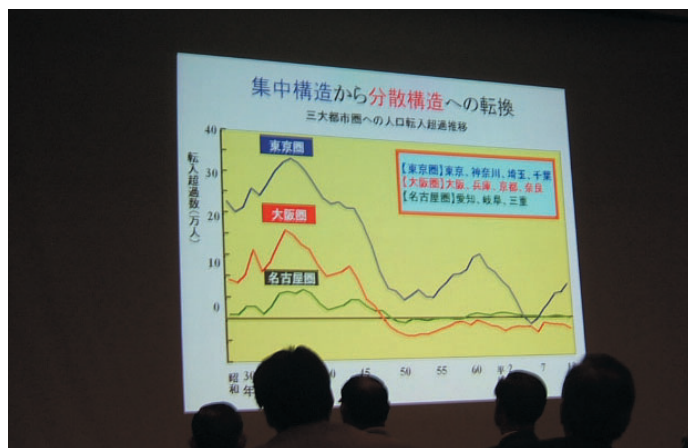
講師の月尾嘉男氏

去る5月30日、広島国際会議場で行われた県内町議会議員研修会に参加しました。

研修会では、前石川県町村議会議長会事務局長の多島洋氏による「わが国の議会制度の変遷」と題した講義と、東京大学名誉教授の月尾嘉男氏による「地方分権時代の地方の役割」と題した講義を受け、改めて、地方議員としてのあり方について深く考えさせられました。

私たちをとりまく社会情勢が、非常に目まぐるしく変化中、議員も常に新しい情報を取り入れ、学び、柔軟性を身に付けていかなければなりません。そういった意味で今回の研修会への参加は、有意義なものでした。

これからも町民の皆さまのご期待に応えられる町議会でありたいと思います。



編

集

後

記

海田西小学校のビオトープに蛍が飛んでいます。

田んぼに農薬をまき、埋め立て、川はコンクリートで固め、小動物が住む環境がなくなり、メダカが絶滅危惧種になってしまいました。自然は一度壊れると取り戻すためには大変な努力が必要です。

夏の風物詩の蛍がいつの間にかいなくなり、メダカも店で買わなければならぬような時代。当然のようにあつたものが、なくなつて初めてその大切さを実感します。

蛍やメダカがどこに行ってもいるような、自然豊かな海田町になるといいですね。